

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	03	0406	6次産業化推進事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	1	農業生産の支援			
目的	商品開発の素材掘り起こし					
対象	<ul style="list-style-type: none"> 市内の飲食店、食品加工業者、旅館・ホテル業者 市内の消費者 					
意図	市内の企業や消費者に花巻産農畜産物の利用拡大を図ってもらう。					
事業概要						
○6次産業化推進 料理コンテストの開催						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	コンテストレシピ応募件数	件	計画	50	50	
			実績	56	14	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	雑穀料理提供店	店	目標	50	50	
			実績	60	60	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成21年度より、商品開発の素材として雑穀に重点を置き、情報提供を続けた結果、食品加工業者、飲食店、宿泊施設等において雑穀への関心が高まり、雑穀を活用したメニューの開発につながったものの、メニュー、商品販売店数が急激に増加しており、飽和状態となっている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 素材の掘り起こしには、農商工織の公共関与が必要であるため。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	<ul style="list-style-type: none"> 雑穀の「ひえ」については、ある程度商品化は進んだが、更なる活用や、その他穀種、雑穀以外の農産物の素材の掘り起こしの余地はあるため。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施のための最低限の予算、人員で実施しているため。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	<ul style="list-style-type: none"> 日本一の雑穀の販売推進を図る取組で、費用負担を求めるものではないため。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価		
6次産業化による商品開発の促進及び農家の所得向上を目的として、雑穀を活用したオリジナル料理のレシピを発掘するためのコンテストを行うことができた。また、関係機関とともに、市内の農業者を対象に6次産業化に関する意見交換会を2回開催し、情報共有を図ることができた。平成27年度においては、市内の農業者等を対象に6次産業化に関するセミナーや講習会を開催し情報提供を行うほか、6次産業に取り組んでいる農業者等の支援を行う予定である。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 安部慎司 内線 6-293
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0406	6次産業化推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			360		
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		360		

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
収益性の高い農畜産物の生産を進める。

事業開始の背景・経緯

料理コンテスト等は、花巻産農畜産物活用促進事業として実施していたが、平成23年度からハード事業を6次産業起業家応援事業として商工振興費に集約し、本事業は、ソフト事業として事業化した。

事業概要

○6次産業化推進
料理コンテストの開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

飲食店、食品加工業者からは、「手を加えずにすぐ活用できるクオリティの高いアイデア」、また、新しい売り先や大きな話題性を提供して欲しい旨要望がある。

《事業手法の詳細》

6次産業化推進事業 雑穀を活用したオリジナル料理のレシピを発掘するためのコンテスト

- ◆「雑穀料理コンクール～幼児・子ども向け弁当編～」の開催
 - ・内容 6次産業化による商品開発の促進及び農家の所得向上を目的として、雑穀を活用したオリジナル料理のレシピを発掘するためのコンテスト
 - ・応募者数 14名
 - ・応募作品数 14作品
 - ・審査 1次審査（レシピ審査） 5作品を選出
2次審査（試食審査）
 - ・表彰 最優秀賞 1点、優秀賞 1点、佳作 3点
 - ・事業費 215,578円
- (内訳)
 - 報償費 賞金 95,000円
(最優秀賞 5万円、優秀賞 3万円、佳作 1万5千円 (5千円×3点))
 - 2次審査・審査報告用試食作成謝礼 18,000円
(2次審査用試食作成3千円×5名+審査報告用試食作成3千円×1名)
 - 参加賞 9,360円 (1,040円×応募者9名)
 - 謝礼金 79,200円 (26,400円×審査員3名)
- 消耗品費 表彰式消耗品代 9,428円
- 通信運搬費 参加賞発送用レターパック代 4,590円
- ◆「雑穀料理コンクール～幼児・子ども向け弁当編～」ポスター・チラシ印刷代
 - ・合計金額 144,180円
 - (内訳)
 - チラシ 66,000円 (132円×500枚)
 - ポスター 67,500円 (1,350円×50枚)
 - 消費税 10,680円